

研修センター便り

No.8 後志教育研修センター

平成27年12月21日 発行

TEL0136-22-1337

FAX0136-22-2681

相手が先 ～学び得たこと～ 所長 平 正博

「どのような一年でしたか？」という問いをあちらこちらで耳にする、そんな年の瀬を今年も迎えております。「タイトな日々が多かったねえ～」とか、「ハードなことが次々とやってきた一年でした。」などなど、艱難辛苦の出来事をはじめ、どちらかいうと多忙感を先に思い起こすのは人の常かと思われれます。自分の見つけた星に「ケンブルの滝」と命名したケンブル神父さえ、「私たちはこの社会の多忙さにより、小さな美さえ気づかないでいる。」という言葉を残しているくらいですから・・・。

さて、今年度も22の学校と1施設において出前講座を開講することができました。出前講座では、その学校に授業提供をはじめ、諸準備等を含めて寛大なる御理解と学校ぐるみの御協力をお願いすることとなります。そのようなお願いがあったとしても、学校の毎日は変化の連続です。昨日と同じ日は皆無です。それらの変化へ対応するだけでもそれ相応のエネルギーを要します。ましてや、「新たな変化を創り出す」となると、垂直思考や水平思考などの多次元的な考えが極めて強く求められます。そのような折、当初の講座内容に付け加えて新たなプログラムを付加してくれた校長先生及び教頭先生がおりました。

カントは、「汝の人格においても、あらゆる他者の人格においても、人間性を単なる手段としてではなく、常に、同時に、目的として扱うように行為せよ」と説いております。

この教えをセンターとしてのお話しに置き換えてみますと、受講者数の増加を目指して講座を開設することはもちろん大切ではありますが、しかしそれが手段・客体となるのではなく、子供たちに思考力等の能力を醸成できる、実践的指導力に富む受講者の輩出が目的・主体であるというお話しに収束するかと思います。

先ほどの校長先生や教頭先生の発想は、課題に対して安易に妥協することのない日常の経営の中から産まれたものだと考えます。まさに受講者を目的・主体とされた考え方でございます。

当センターにおきましても、「管内20市町村が共同で教育に関する研修及び調査研究を実施する」という目的の実現に向け、お二人から学び得た「相手が先」の思想を、さらに肝に銘じて進んでまいりたいと考えております。いよいよ暮れも押し迫りました。皆様には、よきお年をお迎えくださいますよう、心より御祈念申し上げます。

センター組合議員（平成27年12月1日現在）（任期 平成26年7月1日～平成30年6月30日）

市町村首長や議会議員選挙に伴い、当センター組合議会議員が新たに再選されたところがございます。改めてご紹介申し上げます。明年3月末には、定例組合議会を予定しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。[再：再選議員、新：新任議員]

島 牧 村	瀬戸川 豊 議員	共 和 町	藤原清二 議員 新
寿 都 町	片岡春雄 議員	岩 内 町	上岡雄司 議員 再
黒松内 町	忠鉢廣喜 議員 再	泊 村	牧野浩臣 議員
蘭 越 町	宮谷内 留雄 議員	神 恵 内 村	松谷 堅志 議員
二セコ 町	斉藤 うめ子 議員	積 丹 町	田村 雄一 議員
真 狩 村	佐々木 和見 議員	古 平 町	本間 順司 議員
留寿都 村	秦 正樹 議員	余 市 町	野呂 栄二 議員 再
喜茂別 町	菅原章嗣 議員	仁 木 町	佐藤 聖一郎 議員
京 極 町	山崎一雄 議員 再	赤井川 村	赤松 宏 議員 再
俱知安 町	小川不朽 議員	小 樽 市	横田久俊 議員 再

学級経営（2）いじめ・不登校 7/27

学校経営（1）校長講座 7/29

学校経営（2）教頭講座 7/30

講師 吉岡 智尋（菁園中）
西野 公子（沢町小）

講師 下口 学（仁木小）
法本 明洋（忍路中）

講師 村上 俊一（望洋台中）
水口 正紀（黒川小）



